



第95回

満月の夜開くけいはんな哲学カフェ

ゲーテの会

オンライン

会場参加



日本と世界の歴史の転換点で、転軸機を動かした「先覚者」の事跡をたどる
「新たな文明」の萌芽、探求を！

思想・文学

「直観」から勇気をもらう

— 自然研究者ゲーテがスピノザに学んだこと

講師

吉田 量彦 先生

東京国際大学商学部教授

講演
要旨

ゲーテはある手紙の中でスピノザの『エチカ』と、そこで語られる「直観の知」なるものに言及し、自分はこの思想から「私の全生涯を事物の観察に捧げる勇気」をもらったと語っている。その長い生涯のさまざまな時期・さまざまな機会にスピノザへの共感を示していたゲーテだが、どこにどう共感しているのかは大抵の場合ぼんやりしており、このように具体的な典拠を明らかにして語っているテキストは貴重といえる。

スピノザのいう直観の知とはどのような知のあり方か。なぜ、そしてどのような勇気をそこからゲーテはもらったのか。その勇気はスピノザ自身の思想から無理なく導出されたものなのか、それともゲーテがやらかしたある種の（すこぶる生産的な結果を生んだにせよ）誤解・誤読の産物なのか。ゲーテの生涯にわたる自然研究を支えた「直観」の虚実について、わたしが今考えていることをお話ししてお集まりの皆さまのご高評を仰ぎたい。



1971年、茨城県水戸市生まれ。慶應義塾大学文学部、同大学院文学研究科を経て、ドイツ連邦共和国ハンブルク大学にて学位取得（哲学博士）。現在、東京国際大学商学部教授。専門は、ドイツ語圏を中心とする17・18世紀の西洋近代哲学。近著に『スピノザ 人間の自由の哲学』（講談社現代新書）、訳書にスピノザ『神学・政治論』（光文社古典新訳文庫、全2巻）がある。他論文、翻訳多数。近年はスピノザ哲学のドイツ語圏での受容史・影響史に関する論文が多い。

参考
図書

ご講演の内容の理解を促進するために次の図書が有益です。

吉田量彦著『スピノザ 人間の自由の哲学』 講談社現代新書（2022）

2025年2月13日（木） 18:00～20:00（受付 17:30 から）

会場

国際高等研究所 コミュニティホール
〒619-0225 京都府木津川市木津川台 9-3

定員

会場 40名、オンライン 100名
（先着順・定員になり次第締め切り）

参加費

無料

締切

2025年2月11日（火）

申込

Peatixからの参加申込のみとなります。事前申込の上で、ご参加いただきますようお願いいたします。
申込先：<https://peatix.com/event/XXXXXXXXXX>

お問合せ先

申込・支払・視聴など、Peatixの利用方法についてご質問などがございましたら、下記のヘルプページをご確認いただくか、お問合せ窓口にご連絡ください。
Peatix ヘルプページ <https://help-attendee.peatix.com/ja-JP/support/home>
Peatix お問合せ窓口 <https://help-attendee.peatix.com/ja-JP/support/tickets/new>